



第2号

平成 27 年 3 月 31 日

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

秦野市桜町 2-1-3

TEL 0463-80-3001

会長あいさつ

神奈川県西部職業能力開発推進協議会会長 米山 君夫

会員の皆様には、日頃より神奈川県西部職業能力開発推進協議会の事業運営に際してご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。近年は温暖化の影響でしょうか、急激な気象の変化による自然災害が多くなってきています。集中豪雨による河川の氾濫や急傾斜地の崩落、多発する地震、火山活動による噴火など、かつてなかったほど各地に被害がもたらされています。政府並びに自治体の迅速かつ具体的な対策が求められています。



さて、当協議会も発足以来、早や2年を経過しようとしています。

初年度の重要なテーマでした会員増強につきましては、おかげさまで会員数も発足当時の150社から、平成27年3月時点で250社を超えるまでに増加しました。これもひとえに会員の皆様のご協力をはじめ、県立西部総合職業技術校事務局職員の方々によるご尽力の賜物と感謝申し上げます。

この一年の推進協議会の事業を振り返りますと、昨年6月の総会以降、7月には神奈川県4推進協による情報交換会が産業技術短期大学校にて開催されました。各推進協の活動報告や会員増強の取り組みなど熱心な意見交換が行われました。

11月には第1回研修会の実施（川崎ゼロ・エミッション工業団地）、三栄レギュレーター（株）東京工場（循環型製紙ライン）を見学し、更に第30回全国削ろう会での本校木材加工コース技術校生の大会参加に向けた支援を行いました。そして、12月には合同就職説明会の開催に向けた支援をし、会員企業を中心とした求人企業が一堂に集まり、技術校生に就職先となる企業や業界についての認識を深めていただきました。多くの企業が採用につながったとも聞いており、地域の企業と技術校生のマッチングを図る良い機会になったと思います。

また、平成27年1月には第2回研修会・講演会を実施し、講師として海老澤栄一氏をお招きし、演題「もう一人の自分づくり」を開催するなど、多くの会員のご参加をいただき、平成26年度事業も会員各位のご協力により、滞りなく執行することが出来ました。

また、西部総合職業技術校の人材教育の面では、在職者向けの「スキルアップセミナー」が年間150講座以上開催されています。あらかじめ決められたメニュー型だけでなく、企業のニーズに合わせてオーダーメイドで開催される「オーダー型」の講座もあり、会員企業を始めとした多くの企業に活用されています。

今後、会員企業と西部技術校との連携や係わり方など、推進協議会といたしましては、地域産業並びに団体に密着した活動に向けて、推進協各企業の果たす役割と課題は大きくなっていきます。近い将来、急速に進む少子高齢化（労働力人口の減少）等、厳しい社会環境が予想されますが、県当局のご指導をはじめ、地域の関係諸団体との連携と情報の共有を一層強めて、会員企業の皆様と一丸となり地域の活性化に寄与できますよう、今後ともご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員企業・団体の益々のご発展と皆様のご健勝を心からご祈念申し上げ、挨拶といたします。

参与あいさつ

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

参与 秦 昌樹

(神奈川県立西部総合職業技術校 校長)

神奈川県西部職業能力開発推進協議会の皆様の日頃からのご協力、ご支援に感謝いたします。おかげさまで、かなテクカレッジ西部も開校から2年が経過し、3回目の桜の季節を迎えることになります。

開校した平成25年度は、旧4校（平塚校、藤沢校、小田原校、秦野校）それぞれの歴史、文化、特性を活かしつつ、かなテクカレッジ西部としてひとつにまとめあげ、組織の基盤を構築することに尽力しました。



2年目となる今年度は、組織基盤のさらなる強化を図るとともに、将来に向け、校として中長期的に挑戦すべきテーマを設定し、重点とする事業については、実施段階に至っております。中でも、近隣の高等学校との事業連携や、すべての訓練コースにおける安全教育の強化（5S活動、KYT活動の導入）等は、着実に成果をあげつつあります。

また、技術校の最大の目的である就職支援につきましては、平成25年度の修了生において、96.5%という高い就職率を達成できました。これもひとえに推進協議会会員企業の力強いご協力の賜物と、心より感謝しております。

発足当初150社であった会員数は、現在、250社を超えています。それにともない共催いただいている合同就職説明会は、参加企業数が、初年度の74社から、今年度は119社と、規模を拡大しており、当校の就職支援にとって極めて重要な事業になっています。

さて、日銀短観2014年12月調査によると、日本経済は、消費増税後の落ち込みから持ち直し、米国を中心とした海外経済ともども、緩やかに回復するとみられています。さらに、円安に原油安が加わることで、中小企業の収益も改善する見通しで、昨年からの有効求人倍率が継続的に上昇傾向にあります。特に、平成27年度の新卒採用計画は、全規模・全産業で前年比+6.5%と上方修正され、大幅な採用増の計画が維持されています。

これらを背景とし、職業能力開発の重要性は、ますます高まっており、推進協議会と当校の連携強化が地域の産業振興において果たす役割は、今後とも大きくなっていきます。

当校職員一同、県西部地域の発展に貢献すべく、優秀な人材の育成に向け推進協議会のお力添えのもと、邁進努力していく所存です。

最後に、推進協議会のさらなるご発展と、会員の皆様のますますのご健勝、ご活躍を心からお祈り申し上げまして、挨拶といたします。

事業報告

■第1回定期総会の報告



平成26年6月4日(水) 16時から西部総合職業技術校にて、神奈川県産業労働局産業人材課木下公太郎副課長他4名の来賓をお迎えし、神奈川県西部職業能力開発推進協議会第1回定期総会が開催されました。

定期総会当日は、会長あいさつに続いて、来賓紹介、来賓を代表して木下産業人材課副課長からご祝辞をいただいたあと、委任状を含め177会員の出席を得て、(第1号議案)「平成25年度事業報告」及び(第2号議案)「平成25年度収支決算」の説明、

監査報告が承認されました。続いて、(第3号議案)「平成26年度事業計画(案)」、(第4号議案)「平成26年度予算(案)」について議決されました。定期総会終了後、懇談会を行い、なごやかに協議会会員相互の親睦を深めました。

■優良従業員表彰式

平成25年度優良従業員表彰式が、平成26年6月4日(水) 神奈川県西部職業能力開発推進協議会第1回定期総会において行われ、理事会で決定されました5名の会員事業所従業員の方が紹介され、米山会長より表彰状と記念品が贈られました。

米山会長は、式辞の中で受表彰された従業員の皆さんが職場での模範となり、たゆまぬ努力によって事業所の繁栄に貢献された功績に対して敬意を述べられ、今後も職場のリーダーとして一層ご活躍いただくとともに、後進の指導、育成に力添えいただくよう期待したいと激励されました。

表彰を受けられたのは、次の皆さまです。おめでとうございます。



氏名	事業所名 (所在地：分野)
坂田 一希 さん	巴マシンアリー株式会社 (綾瀬市：工業)
近藤 亮 さん	株式会社足柄グリーンサービス (南足柄市：建設)
佐藤 善孝 さん	社会福祉法人 中心会 (海老名市：介護)
岩崎 美紀 さん	株式会社ハーフ・センチュリー・モア サンシティ神奈川 (秦野市：介護)
五味 健太 さん	有限会社戸山家具製作所 (海老名市：建設)

(写真上：前列左から、坂田さん・近藤さん・佐藤さん、写真左下：岩崎さん、写真右下：五味さん)

なお、岩崎さん、五味さんは、都合により表彰式を欠席されましたので、後日事務局より事業所にて表彰させていただきました。

■第1回研修会 (川崎港及び川崎ゼロ・エミッション工業団地の見学会)

平成26年11月5日(水)、第1回研修会(施設見学会)を実施しました。見学先は、川崎港内巡視船乗船と川崎マリエン、そして川崎ゼロ・エミッション工業団地です。参加人数は、26名でした。

まず、川崎港内巡視船乗船(90分間)では、川崎市港湾局の巡視船「あおぞら」に乗船し、川崎市のコンテナターミナル等港湾施設の状況を理解するとともに、運河から水江町、千鳥町、東扇島、浮島町等を視察して、川崎市の工業地域と物流の現状を見ることができました。

次に昼食と展望を兼ねた川崎マリエン(60分間)では、地上51m、360度回遊式展望室から京浜運河沿いに展開する工業地帯を眺められ、眼下に広がる倉庫群とコンテナターミナルや羽田空港に離着陸する飛行機も観賞できました。

午後は、川崎ゼロ・エミッション工業団地(90分間)で 世界初のゼロ・エミッション製紙工場の三栄レギュレーター株式会社東京工場で最先端設備を擁した「循環型製紙ライン」を見学しました。月産7000トンの回収紙を処理し、毎日110万個ものトイレトペーパーを生産している現場を知ることができました。朝から夕方までタイトなスケジュールでしたが、貴重な見学会となりました。



■第2回研修会 (講演会)

テーマ『もう一人の自分づくり』～能力の限界を知り、それを超えるために～
講師 海老澤 栄一 氏

平成27年1月28日(水) 15時30分から西部総合職業技術校多目的教室において、神奈川大学名誉教授である海老澤栄一氏を講師にお迎えし、会員企業の人材育成に役立てることを目的に、講演会を実施しました。出席者は46名でした。

出席者自らが「もう一人の自分が必要なワケ」「いまここにいる自分と、もう一人の自分との距離は?」「自分のちからをはかる基準は?」「“超える”ことの意味」を考えなくては生き残れないという気づきを得ると共に、多くの宿題をお土産にいただきました。

研修会終了後17時30分から場所を変えて懇親会を行い、海老澤講師を囲んで和やかな雰囲気の中で、活発な質疑応答と意見交換が行われました。また参加した異業種の企業交流により、異なる業界の生きた情報交換や、事業連携を図るためのきっかけにもなり、大いに親睦を深めることができました。



■合同就職説明会の開催

平成26年7月30日(水)(9月前期修了生対象)と12月10日(水)(27年3月後期修了生対象)に、合同就職説明会を西部総合職業技術校で実施しました。昨年に引き続いての実施となりますが、参加会員企業も増え、西部総合職業技術校の修了予定者や、12月については一般求職者、大学生、高校生も参加し、各企業の採用担当者が事業内容や求める人材ニーズなど長時間にわたる丁寧な説明をいただき、求職者はそれを真剣に受けるという姿からお互いの意気込みを感じさせられました。

採用担当者からは、「参加求職者の皆さんは積極的な方が多く好感が持てる」「将来の自分をイメージして就職活動に臨んでいる人が多く頼もしく感じている」「広く企業研究しようとする就職に対する意識の高い人が多く感心した」「求めている人材と出会えて話のできたので当社を是非希望して欲しい」などの感想をいただきました。

また、参加求職者からも「学外の合同説明会よりも興味のある分野の企業の説明を聞くことができた」

「視野が広がった」「企業の方としっかり話す機会を持って、自分の就職活動に弾みがついた」「求める人物像を知り、自分自身がどのように会社に対して自分を活かせるか考えることができた」などの声が聞かれ大変有意義な説明会になりました。

今後もこうした就職支援を積極的に展開して、推進協議会会員企業における有望な人材確保と、西部総合職業技術校における就職状況の向上、地域雇用の活性化を図っていきたいと思います。



西部総合職業技術校の紹介

■コース紹介

工業技術分野8コース、建築技術分野5コース、社会サービス分野2コースの計15コースの職業訓練を行っている“かなテクカレッジ西部”のコース紹介を行います。

今回は、訓練期間1年・2年の工業技術分野3コース（いずれも4月入校）を紹介します。

電気コース
訓練期間 1年 定員20名

電気設備や電気機器の設計・製造・保全について学ぶとともに、訓練を受けながら「電気取扱業務に係る特別教育（低圧）」の修了証を取得できます。また、配線工事などにも対応できる「電気工事士」の資格取得をめざします。

ICTエンジニアコース
訓練期間 1年 定員30名

情報通信技術（Information and Communication Technology）は社会において欠かせない技術の一つとなっています。このコースでは、コンピュータやネットワーク全般の知識に加え、新技術に必要な通信・サーバに関する技術やアプリケーション開発技術を学びます。

自動車整備コース
訓練期間 2年 定員20名

自動車整備に関する高い知識と技術・技能を身に付け、「二級自動車整備士」の資格取得をめざします。乗用車をはじめ産業用車両やハイブリット車などのハイテク車両の整備技術も学びます。西部校唯一の訓練期間2年のコースです。

■平成27年度新設（**NEW**）スキルアップセミナーのご案内

西部総合職業技術校では、様々な分野のセミナーを多数開催しております。

平成27年度のメニュー型の新設スキルアップセミナーは、平成26年度に比べ下記の表のとおり追加しましたのでご活用ください。

また、ご要望に応じた講座内容や日程を設定するオーダーメイド型のセミナーもお受けしておりますので、是非ご相談ください。

（電話：0463-80-3004 西部総合職業技術校）

セミナー名	実施日
ものづくり継承塾「構造物鉄工」	10/7,14,21,28,11/4,11【毎週水曜開催】
ティグ溶接（直流溶接編）	7/4,5【土・日開催】、1/21,22
ティグ溶接（交流溶接編）	10/10,11【土・日開催】
インテリア3Dソフト入門	9/10,11
ビルクリーニング実務	11/4,11
介護職員のための緊急対応・感染症対策	10/27,11/5

詳細は「スキルアップセミナーガイド」をご覧ください。

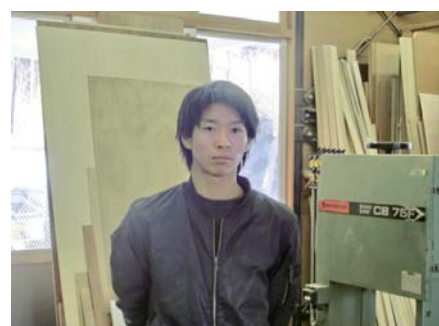
■修了生の近況



平成26年3月修了
山田 和宏さん(セレクトプロダクトコース)
永興電機工業(株) 相模工場

『ものづくり』の、特に職人的な技巧への憧れだけで右も左もわからぬまま就いた機械加工の仕事に従事しています。技術校で改めて機械加工の基礎を学び、本当のスタートラインに立てたように思います。

現在は、NC旋盤等による加工業務を担当しています。技術校での経験が活き、仕事への取組み方・自信は以前とは比べ物になりません。仕事の傍ら、1級の機械加工技能検定を目指して、勉強を重ねているところです。



平成26年3月修了
小林 航平さん(木材加工コース)
有限会社 フリーハンドイマイ

～立派な家具職人になるために～

子供の頃から『ものづくり』が好きでした。技術校の実習では、学ぶことすべてが新鮮で面白かったです。現在は、就職して実際に仕事として家具を作る大変さとやりがいの両方を感じています。まだまだ覚える事が沢山ありますが、良い家具が作れるように精進して行きたいです。



平成26年9月修了
木本 明子さん(ケアワーカーコース)
社会福祉法人かながわ共同会 秦野精華園

人と関わるのが好きで、介護の職業に興味をもち、技術校に通いました。技術校では専門的な知識や技術をはじめ、先生方の経験談や実習の体験を経て、どのような介護士になりたいか目標を持つことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。現在は、実習先でお世話になった知的障がい者施設で非常勤として勤めています。日々様々なことがあり、時につまづくこともありますが、共に学んだ仲間と励まし合ったりしながら介護福祉士を目指して、元気に頑張っています。



平成25年9月修了
佐々木 雅人さん(介護調理コース)
社会福祉法人 宝安寺

～46才にして出会えた素敵な仕事～

46才の時、会社が倒産して、ただ漠然と倒産が少なそうな介護を目指そうと思い技術校に入りました。そこで障がい者福祉を知り、働きたいと思うようになりました。そして、希望した福祉の仕事に就職できました。現在、障がい者入居施設で働いています。専門的な事も学び、施設の利用者の方々を支援しています。49才になった今でも充実した毎日を過ごしています。素敵な仕事に出会えて感謝です。

■推進協議会ホームページを開設

神奈川県西部職業能力開発推進協議会のホームページを開設しました。

今後、活動情報などを掲載しますので、ご覧ください。

アドレス <http://suishin-west.jp/>

神奈川県西部職業能力開発推進協議会

<p>トップページ</p> <p>最新情報</p> <p>概要</p> <p>会長あいさつ</p> <p>運営体制</p> <p>会員企業一覧</p> <p>年間活動等</p> <p>年間事業計画</p> <p>前年度事業報告</p> <p>研修会</p> <p>合同就職説明会</p> <p>推進協だより</p> <p>入会のご案内</p> <p>入会するには</p>	<p>神奈川県西部職業能力開発推進協議会は神奈川県立西部総合職業技術校（愛称：かなテクカレッジ西部）と連携して、事業所相互間の連携を図りながら職業能力開発の展開と充実に努めることを目的とした団体です。</p> <div style="text-align: center;">  <p style="text-align: right; font-size: small;">西部総合職業技術校（右下）</p> </div>
---	---

[最新情報](#)

推進協議会加入のお願い

当推進協議会では、この会報で紹介しております研修会・見学会や就職説明会などの事業を実施していますが、さらに会員が増えることにより、会員企業相互の情報交換・交流も充実させることができます

現在の会員数は、平成27年3月末現在で251社となっています。入会いただける企業・事業所がおられましたら、是非、ご紹介くださるようよろしくお願いいたします。

〔入会の問い合わせ先〕 推進協議会事務局 電話 0463-80-3002

編集後記

会員の皆様には、それぞれ日ごろの業務にお忙しいことと存じます。

西部校も開校して2年が経ちました。会員の皆様並びに関係各位のご協力により、この会報の第2号を無事発行することとなりました。今回は、新しく「修了生の近況」を掲載しました。紙面をお借りして感謝申し上げます。

今後とも、ご協力の程、よろしくお願いいたします。